

基礎工事を完了 白熱のクナール河

2017年12月21日



事務局のみなさん、後藤・村上先生、

年末の忙しい時に、しばしばお伝えします。

これが今年最後の報告になります。

君子もまた窮することありや。最も苦慮していたのがカマ第二堰再建の基礎工事でしたが、本日基礎の最終段階、床面のコンクリート打設作業に入りました！
といっても、コンクリートの厚さ 40～50 cm、約 900 m²なので一日では終わりません。ファヒム技師と共に、マルワリード II で働いていた精鋭部隊を全て集め、一気に人海戦術で行います。生コン車など、気の利いたものがなく、旧式のミキサー車 3 台を集め、猛烈な勢いで進めています。

対岸の砂州では、橋の前後の措置、河道整備、カマ第一堰の堰上げ作業が同時に行われ、明後日にせき止めていた河道を開放します。工事による断水を 2 カ月と見て、カマ自治会と相談、今冬はカマ地区の灌漑を上流の第一堰に絞ることにしています。自治会は極めて協力的です。

殺人的な日々でしたが、これによって工期が追いつき、2 月下旬の竣工は希望が見えてきました。もう少しです。

小生は年末に一時帰国して出直します。

綱渡りの一年のダメ押し、あわただしい年の瀬となりましたが、来年もよろしくお願ひ申し上げます。

良いお正月とクリスマスをお迎え下さい。

2017 年 12 月 21 日

部隊を二分して上手の砂利溜めは打設作業、下手の砂吐は鉄筋作業という離れ業。



浸蝕された堤防の基礎は巨礫または岩盤の層までコンクリート床面を連続、作業場で溜めた鉄筋の切れ端を集めて鉄筋のジャングルを埋め込む。コンクリートを入念に充填すれば、強力な岩塊となる。



河道 2 の橋、前後の措置と河道整備。



河道整備で得る大粒径の砂利は膨大、これを上流カマ第一堰のかさ上げに使う。自然が雄大で、いかに突貫工事、物量動員、人海戦術などと気ぜわしい言葉を並べても、人間の物差しなぞタカが知れている。やるだけやって誠意を尽くせば、水神さまの咎めは少なからう。問題は良心への忠義だ。

